

令和4年度 福津市地域包括支援センター 事業報告
 (令和4年4月～令和5年3月)

地域包括支援センター機能強化を目標とし以下の取り組みを実施

計 画	実 績
<p>職員体制</p> <p>センター長 1名</p> <p>保健師等 3名</p> <p>社会福祉士 5名 (うち1名認知症初期集中支援チーム員兼任)</p> <p>主任介護支援専門員 5名 (うち2名総合事業のプラン作成担当)</p> <p>作業療法士 1名</p> <p>事務員 1名</p>	<p>令和5年3月31日現在</p> <p>センター長 1名</p> <p>保健師等 3名</p> <p>社会福祉士 4名 (うち1名認知症初期集中支援チーム員兼任)</p> <p>主任介護支援専門員 5名 (うち2名総合事業のプラン作成担当)</p> <p>作業療法士 1名</p> <p>事務員 1名</p>
<p>社会福祉士 A 令和4年5月1日 採用 (初期集中支援チームと兼務)</p> <p>事務 B 令和4年7月1日 採用</p> <p>看護師 C 令和5年2月1日 採用</p> <p>事務 D 令和4年8月31日 退職</p> <p>保健師 E 令和4年12月15日 退職</p>	
<p>1 地域包括支援センターの機能強化</p> <p>① ワンストップ相談窓口としての相談スキルの向上のため、個々の研修やケース検討を通じて相談業務のスキルアップを図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップの研修会は、会場、Webと状況を見ながら参加を行っている。 ・内部のケースの共有は、毎日実施し、支援に悩んだケースはホワイトボードを使用し検討を行っている。 ・包括センターの業務が滞ることなく行えるように、BCPの策定を行った。

計 画	実 績
<p>② 地域包括支援センターの機能の普及・啓発及び周知。</p> <p>③ 権利擁護・高齢者虐待・成年後見制度について正しい知識を深め、普及啓発を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・包括だよりを8月と1月に発行。各職種から伝えたいことの掲載を行った。 包括だよりは、包括センター窓口や市役所に設置し、民生委員会や福祉部会などで配布している。 ・郷育カレッジで「ふくつの介護保険」の講義を行い、包括センターの説明も行った。 ・社会福祉協議会の職員に、通所型サービスC、訪問型サービスB、Cの説明を行った。 ・「困った時の相談窓口」の用紙を、包括センターや市役所窓口に設置した。また、予防支援の契約や総合相談で必要時に配布している。 ・包括センターのシールを包括センターや市の窓口に設置を行った。また、出前講座や訪問時に配布を行っている。 ・包括センターと市役所で常に情報の共有を行っている。 ・市民向けに、年2回発行する包括センターだよりで権利擁護について掲載を行った。 ・認知症地域支援推進員と協働で、8月23日権利擁護研修実施済、10月11日虐待研修、R5年2月22日成年後見研修を開催した。 ・職員の虐待研修、5月25日、6月2日、成年後見研修7月25日受講した。
<p>2 介護予防及び自立支援・重度化防止</p> <p>① 市と協働して居宅介護支援事業所及びサービス事業所が自立型地域ケア会議に円滑に参加できるようにする。</p> <p>② 主任介護支援専門員が自立支援型地域ケア会議のコーディネートを行えるようになる。</p> <p>③ 介護予防・日常生活支援総合事業推進に向けたケアマネジメントスキルアップ、関係機関との協力、利用者への説明と理解を得る。</p> <p>④ セルフマネジメントができるように支援を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症予防の対策を行いながら、開催を行った。 ・コーディネーターの進め方のマニュアルを作成し、それを参考に実施できるようにした。 ・コーディネーターが行える職員が増えたことで、コーディネーターの急な休みにも主任介護支援専門員が対応できる体制づくりを行った。 ・通所型サービスC終了の方にセルフマネジメントの説明を行っている。 ・社会福祉協議会職員に介護予防の説明を実施した。 ・利用者には、契約時と終了時に介護予防の説明を実施している。 ・通所型サービスC利用者で、介護予防手帳活用が可能な方には説明を行い、希望者に配布(年間29部)をしている。 ・介護予防手帳の再評価を行い、広く普及できるようにシンプル版の作成を行い、R5年度から配布を行う予定。

計 画	実 績
<p>3 ケアマネジメント支援</p> <p>① 自立支援型地域ケア会議のポイント集を更新・配布し活用されているか確認する。</p> <p>② ふくふくネットワーク・主任ケアマネ会・施設ケアマネ会と連携しケアマネジメントのスキルアップや連携強化を図る。</p> <p>③ 地域ケア会議を開催し、介護支援専門員に対するケアマネジメントの支援を行う。</p> <p>④ 出前講座等を活用し、地域住民に自立支援、自助・互助等についての周知啓発を実施する。</p>	<p>・ポイント集第5版の改定を行い、6月に居宅介護支援事業所に配布を行った。</p> <p>・1月にアンケートを実施し、2月21日のふくふくネットワークでアンケート結果の報告と配布を行った。</p> <p>・ふくふくネットワークを年間5回開催。開催方法として、zoomの検討を行ったが、会員の希望により対面での実施となった。</p> <p>・主任ケアマネ会は、年3回開催。</p> <p>・施設ケアマネ会は、年3回zoomを使った研修会を開催。運営委員会は、年4回実施し、運営委員会のサポートを実施している。</p> <p>・自立支援型地域ケア会議から、地域ケア個別会議に繋がり、地域住民と介護保険サービス事業所との共有ができて事例がある。</p> <p>・出前講座や郷づくり福祉部会、サロン、郷育カレッジで介護保険についての説明を行う際に、自立支援についての考え方の説明を行った。</p>
<p>4 地域ケア会議</p> <p>① 地域課題を抽出し、市が必要に応じて開催する地域ケア推進会議に参加し、課題の解決を図る。</p> <p>② 地域ケア個別会議の内容について居宅介護支援事業所に説明を行い、困難事例の検討を出来るようにする。</p>	<p>・必要時、地域ケア推進会議に参加している。</p> <p>・地域ケア会議や通所型サービスCの利用者の事例から、地域課題の抽出を行っている。</p> <p>・個別での相談対応や自立支援型地域ケア会議時に、ケアマネジャーに地域ケア個別会議の説明を行っている。</p> <p>・地域ケア個別会議の周知は、5月2月のふくふくネットワークで実施した。</p>

計 画	実 績
<p>5 在宅医療・介護連携の推進</p> <p>① 在宅医療連携拠点事業で集約された社会資源情報を地域ケア会議やふくふくネットワークを通じてケアマネジャーの活用が進むように働きかけを行う。</p> <p>② 住み慣れた地域での継続した生活が行えるよう、在宅医療・介護保険サービス事業所と連携し切れ目ない体制作りの支援を行う。</p> <p>③ 多職種連携研修などに主体的に参加し、多職種同士の顔の見える関係を築けるよう協力する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新規事業所には医療資源情報を伝えている。 ・医療資源の使い方の問い合わせ時、包括センターでわからない事があれば、むーみんネットに繋いでいく体制をとっている。 ・多職種連携会議には、包括センター職員が参加している。また、ふくふくネットワークから選出された委員の支援(アンケート集計支援等)を行った。会議の進捗状況は随時ふくふくネットワークで共有を行っている。 ・むーみんネットの出前講座の協力依頼があれば協力する体制をとっている。 ・多職種連携会議には継続して参加を行っている。 ・むーみんネットは、R4年度から自立支援型地域ケア会議に参加しており、顔の見える関係性づくりができています。 ・多職種連携会議には、包括センターから参加している。
<p>6 地域との連携</p> <p>① 地域の特性と課題を明確にし、社会福祉協議会、生活支援コーディネーターと連携し、課題解決に向けた取り組みを行う。</p> <p>② 社会福祉協議会と役割分担や協力内容について協議し、地域福祉活動計画の取り組みが進むよう連携する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会に通所型サービスC、総合事業、ケア会議の説明を実施した。 ・必要時、社会福祉協議会、生活支援コーディネーターと情報共有、同行訪問を実施している。 ・通所型サービスC、総合相談からの地域課題について、毎月内部で検討後、社会福祉協議会・生活支援コーディネーター・市役所と共有している。 ・地域課題の抽出のために、新規相談のデータを集約し分析を行っている。 ・R5年1月第41回協議体に参加し、地域住民と買い物についての話し合いに参加した。 ・地域福祉活動計画の取り組みが進むように必要時協力体制をとっている。 ・生活体制整備事業については、社会福祉協議会と会議への参加や包括センターからの課題の情報提供を通じて連携を行っている。

計 画	実 績
<p>③ 郷づくり推進協議会の健康福祉分野の活動に協力する。</p> <p>④ 気になる高齢者や地域課題などについて協力して解決できるよう、地域活動団体と顔の見える関係を築く</p> <p>⑤ 民生委員・児童委員と連携をとりながら、地域の実態把握に努める。</p> <p>⑥ 警察署・消防署・保健所・医療機関等の関係機関と連携する。</p>	<p>・各地区の担当者が、福祉部会に参加し必要な活動に協力している。</p> <p>・地域活動団体とのケースを通じた連携で顔の見える関係性作りをしている。</p> <p>・地区担当が民生委員会に参加し新しい民生委員に包括センターの役割が理解できる様に説明を行っている。 ・ケースを通じて、民生委員と連携を行っている。</p> <p>・警察、保健所、医療機関との連携は、ケースを通じて実施している。 ・消防署との連携は、コロナの影響で話し合いの機会が持てなかったが、R5年度初めに、消防署員に向けて包括センターの説明を実施する予定。また、調整を始めたことで、消防署から気になる高齢者の相談が来ている。 ・R5年3月に、消防署が作成した緊急時の対応動画を高齢者施設に送付の協力を行った。</p>
<p>7 認知症施策</p> <p>① 本人・家族が集まれる場所づくりや地域への啓発。</p>	<p>・開催しているカフェについては、認知症地域支援推進員と包括職員が参加し活動の様子を確認している。 ・コロナ禍のため、新規カフェ設置についての活動は行っていない。</p>

計 画	実 績
<p>② 認知症の正しい知識の普及・啓発。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ガイドブックは、地域のサロンや出前講座の際に配布している。また図書館利用者がいつでも持ち帰ることができる様に、常に置いている。 ・アンケートを参考にしながら認知症ガイドブックの改訂を行った。 ・「口腔ケア」についての研修会を10月19日実施 ・認知症サポーター養成講座を隔月に開催 ・図書館にて啓発のための展示と勉強会実施 ・9月21日アルツハイマーデーに福間駅で啓発グッズを200個配布を行った。 ・包括センター主催の認知症サポーター養成講座を年6回実施した。
<p>③ 認知症疾患医療センターをはじめとした機関との連携を図り、認知症高齢者の早期発見・早期対応に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要時は、適宜関係機関との連携を行っている。 ・捜してメール、防災メールまもるくんの案内は、適宜行っている。民生委員会向け研修で、協力者の登録の呼びかけを行い、ふくふくネットワークで必要な方の登録の説明を行った。 ・成年後見制度についての研修を2月22日に、市役所と包括センター協働で実施した。
<p>④ 認知症の人を地域で支えるまちづくり事業に主体的に参加する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症啓発イベント、認知症サポーター養成講座の資料検討のコアメンバーとして参加した。 ・認知症サポーター養成講座受講者に、「気づきのチラシ」を配布し、包括センターへの情報提供の依頼を行っている。 ・11月19日チームオレンジの研修実施し、3カ所のチームオレンジが成立した。 ・個別ケア会議に参加し、チームオレンジの活動に繋げている。 ・家族介護教室を年2回実施した。
<p>⑤ 市民後見人の活動に関するバックアップと必要時相談支援を行う。</p>	<p>社会福祉協議会からの依頼時、対応できるような体制を整えている。</p>
<p>⑥ 成年後見制度の普及・啓発・活用のサポートを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・捜してメール登録者に年1回後追いをを行い、必要時は成年後見制度の説明を実施している。

計 画	実 績
<p>⑦ 認知症初期集中支援チーム・認知症地域支援推進員と連携し地域力強化に取り組む。</p> <p>8 市との連携</p> <p>① 業務の進捗状況等必要に応じて報告を行う。</p> <p>② 高齢者サービス課以外の部署とも必要に応じて連携を行う。</p> <p>9 公正性及び中立性の確保</p> <p>① 定期的に自己評価を行い、介護保険運営協議会に報告する。</p>	<p>・自立支援型地域ケア会議に認知症地域支援推進員が助言者として参加し、助言を行っている。</p> <p>・総合相談のケースは、初期集中支援チームが対応するかを内部で協議している。</p> <p>・毎月の報告と状況に応じて業務の進捗状況や相談、報告は行っている。</p> <p>・必要時連携を行っている。</p> <p>・9月15日いきいき健康課職員に包括センターの説明を実施した。</p> <p>・消費生活相談と定期的に情報交換をしている。</p> <p>・職員のスキルアップの為、8月12日、8月15日研修会に参加を行った。</p> <p>・年1回自己評価を実施し、市からの評価を受け次年度の計画に活かしていく。</p>